

2023 年度平和カンパをありがとうございます

チェルノブイリ子ども基金は、1991 年からチェルノブイリ事故被災地のウクライナとベラルーシの病気の子どもたちの支援を行っています。2022年2月のロシア軍によるウクライナ侵攻のため、それまで毎年行ってきたウクライナの子どもたちのための保養を実施することができませんでした。2023 年も戦争の終わりが見えず、私たちは保養の実施は難しいと考えていました。しかしウクライナの NGO や学校の先生たちから、「戦争で辛い思いをしている今こそ、子どもたちには保養が必要です」と要望がありました。そして比較的状況の落ち着いている同国西部の山あいにある施設で、ウクライナの子どもたちの保養を実施することができました。ベラルーシについては、日本からの送金に不安はあったものの、無事に例年通り子どもたちの保養を実施することができました。

平和カンパは両国のチェルノブイリ事故被災地の病気の子どもたちの保養のために使わせていただきました。これからもご支援をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

<子どもたちの感想>

★ナースチャ (ウクライナ・ナロジチ市) 16歳

チェルノブイリ子ども基金に、わたしの町の近くで起こった恐ろしい出来事を少しでも忘れさせてくれたことにお礼を言いたいです。今も、私の家の上をミサイルが飛び、爆弾が近くに落ちた時のことを思い出すと、鳥肌が立ちます。

去年は私と家族にとって、他のウクライナ人一人一人と同じように、とても辛い年でした。戦争が起こって間もなくして、私の家族は身の安全のため故郷である町を離れて避難しなければなりません。私はもうこれで終わりだと思いました。この年はこれまでで一番恐ろしい年でした。幸せなことに、今こうしてカルパチアで過ごし、国で起こっている恐ろしい出来事から少し気を紛らわせる機会を与えられました。ここに来られたことは、今年私に起こった一番よいことでした。

私たちは毎日楽しく過ごしています。山の景色は美しく、素晴らしい友だちもできました。プールや山へ散歩に出かけ、ディスコで踊っています。経験したすべての恐ろしいことを、空襲警報やサイレンの音さえ、わずかの間忘れられました。子ども基金のみなさんのおかげでこの夏は忘れられないものになりました。日本がこの残酷な戦争でウクライナを支援してくださっていることにも感謝しています。このキャンプの「前」と「後」で、私の人生は変わりました。ここでの一瞬一瞬を大事にし、少しでも前向きな感情を得るように努めています。みなさん、ありがとうございます!!!

★オレクシー (ウクライナ・オヴルチ市) 8歳

僕はサッカーが好きで、スポーツの時間にはいつもサッカーをしています。キャンプは楽しいです。ディスコやアニメ、プール、四輪バギーに乗るのも好きです。この夢のような日々を、チェルノブイリ子ども基金にありがとうございますと言いたいです。キャンプでは戦争のこわさから休むことができました。去年、ベラルーシ側からロシア軍がやってきて、とてもこわかったです。病気のおじいさんが車1台にぼくとママ、おばあさん、ネコのリュジクのほか、男の人5人を乗せて、逃げ出すことができました。ぼくのお父さんは国を守るために残りました。

★クリスチーナ (ベラルーシ・ゴメリ市) 17歳

日本のみなさんのおかげでこの素晴らしい保養施設「ナデジダ」で過ごせたことにとっても感謝します。ここは私にとってもう一つの家のような存在となり、一緒に過ごしたグループの仲間たちは家族のようになりました。ここで過ごしたことは忘れることのできない素晴らしい思い出です。ナデジダの周りには林に囲まれ、きれいな景色の貯水湖が近くににあります。そして何よりナデジダのスタッフが素晴らしい人たちです。その人たちのおかげで、まるで自分の家で過ごしているようなリラックスした気持ちになれます。毎日行われる催し物は、何か新しいことを知ったり、新しい自分を発見したりすることができず。私はここでとてもたくさんの友だちができました。もしかしたら、ナデジダで何年も保養をしたことが私の職業を決めることにつながったのかもしれませんが。私は自分より小さい子どもたちと接したり、面倒をみたりすることが好きです。それで教師になることに決めました。残念なのは、ナデジダに来るのが今年で最後だということです。これまでのたくさんの良い思い出をありがとうございます。

★ヤロスラフ (ベラルーシ・ゴメリ市) 10歳

僕はナデジダでの保養が大好きです。ナデジダの敷地はとても広いです。食事がとてもおいしくて、たくさんの面白い催し物があります。それからグループの友だちはみんな仲良しでした。近くにきれいな湖があるのもよかったです。先生たちもみんな優しくてよい人たちです。足裏マッサージの道を歩いたり、自転車に乗ったり、サッカーをしたのが楽しかったです。こんなよいところで過ごさせてくれてありがとうございます。

チェルノブイリ子ども基金

〒177-0041 東京都練馬区石神井町 3-16-15-408

TEL/FAX 03-6767-8808 E-mail cherno1986@jcom.zaq.ne.jp

HP <http://ccfj.la.coocan.jp/>